



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-8

2月号

発行 2022年2月15日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、部・区・国際などの活動にも積極的に参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World”
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:

“Make a difference beyond the 100th”
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

・卓話者:株式会社UPDATER
(旧:みんな電力株式会社)
事業本部 マネージャー
間内 賢氏(Ken Mauchi)

・卓話者略歴:大手人材派遣会社にてダイバーシティ推進事業に従事した後、2014年よりみんな電力に入社。電源開発事業部長代理等を経て現職。SDGs/ESG 関連の事業企画に携わる。

・ボランティアリーダーの成人を祝う会
お祝いのことば、記念品贈呈、成人リーダーの抱負、歓談等
*成人式を迎えるリーダーは、以下のお二人です。(敬称略)
茂木董(もてぎ すみれ)
石井理佳子(いしい りかこ)

2月の聖句

鷹が翼を広げて南へ飛ぶのは、お前が分別を与えたからなのか。鷲が舞い上がり、高い所に巣を作るのは、お前が命令したからなのか。(ヨブ記 39章 26・27節)

Does the hawk fly by your wisdom, and spread its wings toward the south? Does the eagle mount up at your command, and make its nest on high? (Job 39:26/27)

2022年 1月の統計 (1月22日)

在籍10名 出席者7名
ビジター 5名
出席率 70%

2月例会予告

日時: 2022年2月26日(土) 16:00~18:00
会場: 埼玉YMCA川越センター+リモート
参加

内容: カーボン・ニュートラルに関する卓話とボランティアリーダーの成人を祝う会
・卓話:「カーボン・ニュートラルの世界を目指して~現代の若者が安心して暮らせる地球に!! コンセントの向こうの発電所に想いを巡らせたことはありますか?~」

巻頭言

会長 吉野勝三郎

私達のクラブの利根川恵子ワイズが、2022年7月~2023年6月アジア太平洋地域の次期会長・国際議員、2023年7月~2024年6月アジア太平洋地域の会長・国際議員として選出されました。英語では、Area President Elect / International Council Member 1 July 2022 - 30 June 2023 and Area President / International Council Member 1 July 2023 - 30 June 2024 となります。

す。投票総数 124 票のうち、119 票を得て 95.97%の得票率と圧倒的な信認を得ての当選でした。同じ時期に投票された、欧州・インド地区などと比較しても、これほどの高得票率の候補者はいませんでした。ほんとうにおめでとうございます。私達の川越ワイズメンズクラブから選出されたことを大いに誇りに思います。立候補に際して、私達は、クラブとして利根川恵子ワイズを推薦しました。いよいよ、今年の 7 月 1 日からこの責任ある業務を遂行される彼女を、クラブを挙げて、可能な限り支援しましょう。ワイズの伝統で、役員はトロイカシステムで、直前・現・次期会長が常に AEO(Area Executive Officers)として動かれます。コロナ禍のため、様々な制限のある中で忙しく活動されることとなります。これからの 3 年間、くれぐれも健康に留意されて、所期の任務を果たすことが出来ますように祈ります。

1月例会報告

書記 利根川恵子

日時：1月22日(土) 16:00~18:30
場所：川越YMC AおよびZoom

0. はじめに

1月例会には、甲府21クラブから佐藤重良次期東日本区理事がはるばる甲府からお出でいただきました。次期東日本区国際・交流事業主任である利根川太郎ワイズと次年度の打合せのためです。また、チェンマイから元国際書記長の西村隆夫さんも加わっていただき、さらに、昨年バス旅行を請け負っていただいた黒子・鈴木良和さんもリモート参加で、にぎやかな例会となりました。

1. 卓話 (要旨別途掲載)

卓話:「ゴルフよもやま話

～あなたの疑問に答えます。～

卓話者:ダンロップスポーツエンタプライズ・トーナメント事業部副事業部長 マネージャー
浅井政彦さん

2. 協議事項

1) 来年度クラブ役員

吉野会長から山本さんに会長職を打診する。

会計は吉田さん、書記は利根川恵子となる。

- ・その後、山本さんが会長を受諾、利根川恵子が国際選挙に当選したことを受け、吉野会長が書記を申し出て交代。

2) 今後の予定確認

- 1月31日(月) クラブ会長報告(吉野会長)
- 2月10日(木) 区費納入(森下会計)
- 2月15日(火) 各種献金・使用済み切手納期
(献金:森下会計、切手:吉田国際担当)
- 2月26日(土) 2月例会(1ページ参照)
- 3月5日(土) 次期クラブ会長研修会(山本さん)



卓話者・浅井政彦さん、佐藤重良・次期東日本区理事を交えて、川越センターに集まったメンバー

3) 3月例会について

3月26日(土) 市制100周年事業で協働を呼びかけてきた青年会議所に依頼してはどうか。未決。

3. 報告事項

- 1) 古本再読: 現在、486冊収集
- 2) 「紅あか」販売: 担当の山崎さんが欠席のため次回での報告を待つ。
- 3) 使用済み切手収集: 集まった切手が1kgに満たない。関東東部で収集しているクラブはないため、換金のための送付を延期。
- 4) Y-森のコーヒー販売: 残り3袋となり注文。
- 5) 「わいわい食堂」: 1月30日(日)、2月20日(日)ともに中止を決定。

1月例会卓話報告

利根川恵子

1月例会の卓話者は、浅井政彦さんにお出でいただきました。浅井さんは、ダンロップスポーツエンタプライズ・トーナメント事業部副事業部長・ゼネラルマネージャーとして、プロゴルフ・トーナメントやゴルフイベントの企画運営を中心とし、プロゴルファーのマネージメント業務などを行っていらっしゃる方です。

私は、東京オリンピック2020で、霞ヶ関カンツリー倶楽部(以下、霞と省略)におけるゴルフ競技のフィールド・キャスト(競技運営ボランティア)として、ヴェニュー・コミュニケーション・センター(Venue Communication Center: VCCと呼ばれ、ゴルフ競技全体の無線を傍受して競技の運営状況を把握する場所)に配属されました。その際に、VCCご担当だった浅井さんと2週間ご一緒したことがご縁で、この度川越クラブで卓話をするをお引き受けいただきました。

東京オリンピックが無観客になったことに伴い、スコアラー(プロ・アマゴルファーや競技委員が配置された)、ボールポジション(一打一打を表示するために、ボールがどこに飛んだかを計測する係)、そしてVCCの、3カ所のボランティアが残り、他の観客対応等のボランティアはすべてキャンセルとなったというのを聞き、人との出会いの縁を感じました。

うれしいことに、ボールポジションでボランティアをなされた元国際書記長の西村隆夫さんも、チェンマイからご参加いただき、ゴルフ談義に加わっていただきました。

浅井さんには、事前にお渡しした質問に、様々なゴルフにまつわるお話を肉付けして、1時間以上にわたり、たっぷり「よもやま話」をお聞かせいただきました。紙面の関係で詳細は省きますが、以下に要旨をご報告いたします。



霞でゴルフ競技最終日のショット

1. なぜ霞がゴルフ競技会場に選ばれたのか。

1903年に日本で初めてのゴルフ場である神戸ゴルフ倶楽部が誕生。神戸在住の貿易商が作った、いわば外国人が外国人のために作ったゴルフ場であった。一方、日本人が日本人のために作った初めてのゴルフ場は、東京ゴルフ倶楽部である。1913年、東京の駒沢にオープンした。現在、霞に隣接する東京ゴルフクラブは三代目(二代目は現・朝霞市にあった。)である。このクラブは貴族中心の集まりであった。

1920年代になって、民間中心でゴルフ場を作ろうという気運に合わせて霞ができた。当地の地主であった発地庄平が、土地の活用を持ちかけられ、現在のゴルフ場の9割にあたる土地を3年間無料で提供した。さらに3万円の資金援助も行った。(後に調べたところ、ゴルフ場建設の総額が12万円だったそうで、25%を出資したことになる。)

1929年に東コース18ホールが完成し、続いて1932年の西コースの完成をもって、日本で初めて36ホールを備えたゴルフ場となった。埼玉県ではもちろん第1号のゴルフ場である。

東コースの設計は、日本におけるゴルフ場設計の「レジェンド」と呼ばれる藤田欽哉を中心に、イギリス留学からゴルフを日本に持ち帰ったとされる赤星四郎などが担当し、さらに1930年に、世界的名設計者のチャールス・ヒュー・アリソンの監修のもとに改造工事が行われた。この時に、難度が高いことで有名な「アリソン・バンカー」が作られた。

開場後、霞は、日本オープンを経営し、日本女子オープンを経営している。また、日本ジュニア選手権は、1971年から50年近く毎年、霞で開催されてきた(ここ数年はオリンピックの準備で他の場所で開催)。

特筆すべきは、1957年のカナダカップ(現在のワールドカップで、国別対抗の団体戦と個人戦)の開催である。その時、中村寅吉が団体(団体は小野光一プロとブレイ)、個人で優勝し、日本に第一次ゴルフブームを起こした。

さらに、2010年、第2回アジアアマチュア選手権が開催された。この選手権で優勝すると、アマチュアであっても、翌年のマスターズと全英オープン最終予選への出場資格が与えられる。この大会で松山英樹選手が見事優勝し、翌年のマスターズに招待され、日本人として初めてアマチュア部門で優勝した。松山選手は翌年も本選手権に優勝し、アマチュアで2年連続マスターズに参加することとなった。

以上、霞の規模、過去の国際競技の実績などがオリンピックゴルフ競技の会場となった大きな理由である。また、霞が社団法人として地元の自治体、教育委員会、体育協会などと連携して、コースを開放していることも理由の一つである。最初の計画では若洲ゴルフリンクスが、最終審査では横浜カントリークラブが候補としてあがっていたが、ホール数、観客対応状況などの観点から、霞が最終的に選ばれた。

なお、競技会場として招致が決まった後に、女性が霞の正会員になれないということがオリンピック憲章に反するとの批判があったが、2017年、理事会で女性会員を認める決定がなされ、女性の正会員が可能となった。



川越センター、チェンマイ、生川さんと3元でのハイブリッド例会でした。(鈴木さんはお仕事で退出。)

2. オリンピックゴルフ競技を振り返って

ゴルフがオリンピック競技に復活したのは、前回の2016年のリオのオリンピックである。112年ぶりの復活であった。

選手の選考基準は、男女ともに60人ずつの参加であるが、過去3年間の成績をポイントで計算し、男子は世界ランキング、女子はロレックスランキングに基づき、15位までは1カ国最大4名までを条件にまず決定する。特別に開催国1名、各大陸推薦1名(5大陸で5名)が入る。残りは、15位以下で、1カ国2名までを条件とし、60人になるまで選んでいく。普通は過去2年間の成績の蓄積でランキングを算出するのだが、オリンピックが1年延びたため、過去3年間の成績となった。もし、2020年に予定通り開催されていたら、畑岡、渋野、鈴木愛となっていたかもしれない。この1年で渋野を抜いて稲見萌寧が台頭し、結局銀メダルを獲得した。

松山英樹は、体調が万全ではなく、ハーフターンで5打差を、14番で1打差まで詰めていたが、気力が持たず、15番ホール以降で惜しい結果となった。

3. ゴルフ人口の減少について

東日本大震災で被害を被った福島県、宮城県などのゴルフ場で閉鎖に追い込まれたところが多々ある。栃木県、群馬県のゴルフ場でも遠いところのものは利用者が少なく潰れた。そのような状況で、ソーラーパネルを設置し、メガソーラーの拠点となっているものが結構ある。もともとコースは日当たりよく設計されているので、そのまま太陽光発電に利用できる。

一方で、コロナ禍で、一昨年4月から6月は練習場もゴルフ場も利用者がなく苦勞したが、7月以降は増える傾向にある。オープンエアで、4人でプレイするので密も避けられることから、特に若い世代を中心にゴルフ人口は増えている。それに伴い、ゴルフ用品の販売も上向きである。生涯スポーツとして注目されている。

昨年10月に、武蔵丘ゴルフコースで開催された2021年樋口久子三菱電機レディスゴルフトーナメントは、2週間前にチケットをネットで販売したが、3日で完売となった。女子の商品力を改めて実感した。

YMCA報告

河合今日子

<事業の実施内容について>

まん延防止等重点措置を受け、埼玉 YMCA としては、添付の通り対応いたします。<添付 PDF>

<2月23日(水・祝)は、ピンクシャツデーです>

今年度も、社会全体でいじめに対し「自分ごと」として向き合うこと、そして誰もが安心して暮らせる多様性を認め合う社会の創造をめざして全国の YMCA でピンクシャツデーを展開いたします。

今年のテーマは【SNS やネットによるいじめ】です。

今後、各プログラムでの取り組みを埼玉 YMCA Facebook・Instagram で発信する予定です。以下のリンクから今年度のピンクシャツデーについてご案内します。

<https://youtu.be/9ugqifmChV8>

<トースター1月活動>

1月は、市内にある陶芸教室でお皿・お椀づくりをしました。講師は、おとしもお世話になった先生で、川越第一ホテルのオーナーと親戚の方です。「これも何かのご縁だから」と言って、私たちのリクエストに快く応えてくださり感謝しています。

途中で皿でもなく、お椀でもない形の物を作ろうとする子がいました。リーダーたちはその子が何を作りたいのかわからずにいると、途中でその子は泣きだしてしまいました。「うまいかないとくやしいね。でもどうしたいのか自分の言葉で伝えないとわからないよ」とリーダーに声をかけられると、「おわんじゃなくて、すみっこのネコちゃんをつくりたい」、そう自分の言葉でリーダーに伝えることができました。

先生に聞くと、「いいんだよ、自分が作りたいものをつかって。それが一番！」そう言ってもらると、その子はたちまち元気になり、もう一度土を練り始めました。最終的に自分が満足のいくネコちゃんを作ることができて、とても喜んでいました。

2月末には作品が届くので、みんなでワクワクしながら待っています。



公益財団法人埼玉 YMCA

まん延防止等重点措置期間についてのご案内

2月13日(水)までとされた埼玉県による「まん延防止等重点措置」ですが、2月18日(日)に措置期間の延長となったことを受けまして、引き続き厳密な対応を徹底して予定通りにプログラムを実施いたします。

皆様には引き続き入籍時プログラム参加における対策への理解とご協力をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

<1月21日(日)～2月13日(日)十～3月6日(日)の期間>

▼詳細画面にて不安がある際は随時個別にお答えいただくこともお願い申し上げます。

「総合インフォメーション」
埼玉 YMCA 対応センター 電話番号：04-2839-5451



【今後の日程】

○ 2月26日(土)16時～18時

2月例会

卓話:「カーボン・ニュートラルの社会を目指して～現代の若者が安心して暮らせる地球に！～コンセントの向こうの発電所に想いを巡らせたことはありますか?～」

卓話者: UPDATER(旧:みんな電力株式会社)

事業本部 マネージャー

間内 賢氏(Ken Mauchi)

卓話終了後、ボランティアリーダーの成人祝賀会を催します。

○ 3月5日(土)

次期クラブ会長研修会 (リモート)

次期クラブ会長・山本剛史郎さん(兼 LT 委員)、利根川太郎さん(LT 委員)参加予定

【DBC/北九州クラブからの朗報】

DBC/北九州クラブの宮川詩麻さんが、長年取り組んでこられた、大分県出身の医学者・田原 淳(すなお)の偉業を讃える、アニメDVD「いのちをつなぐ～世界の心臓学を拓いた田原 淳～」が完成し、お礼状とともにDVD、原作「いのちの光」が送付されました。順次、メンバーに回覧いたします。



【編集後記】

吉野会長の巻頭言にもございますが、みなさまのご推薦をいただき、悩んだ末に意を決して国際議員・次期アジア太平洋地域会長への立候補を受諾したところ、当選という結果となりました。110 クラブ以上が支持をしてくださったこと、Facebook では 200 人以上の方が「いいね」を押し、90 人ほどの方がお祝いコメントを書き込んでくださいました。いかに多くの方に支えられているかを実感し、言葉に表せぬほどの感謝と目に見えない力への畏怖を感じております。これからしっかり準備をして、みなさまのご期待に添えるよう努力する覚悟でございます。クラブのみなさまには多々ご迷惑をおかけしたり、ご無理をお願いしたりすることもあるかと存じます。どうぞ、引き続きよろしく願いいたします。(T.K.)